



▲菅野教育長からAEDを受け取る生徒代表



## 飯館中学校にAEDを導入

6/20  
6/21

AED交付式・普通救命講習会

村が飯館中学校へ導入したAED（自動体外式除細動器）の交付式と、普通救命講習会が同校体育館で行われました。

AEDとは、心臓の痙攣（けいれん）を取り除き正常な動きに戻すことができる、いわゆる電気ショックで、現在は一般の方でも使用できることになっています。村内の小・中学校でAEDが導入されるのは今回が初めてです。

1年生76人が出席した交付式では、はじめに遠藤校長と菅野教育長が「AEDは各施設に導入されてきているので、使用方法を覚え、万が一の時にはしっかりと対応してほしい」とあいさつしたの続き、菅野教育長が生徒代表へAEDを交付しました。この後、消防飯館分署の本間分署長が「世の中で一番大切なものは命です。万が一の時は勇気をもって行動することが大切。皆さんには学校や家庭での救急救命士になっていただきたい」と応急手当の重要性などを

説明しました。

交付式後には「普通救命講習会」が行われ、1年生が心肺蘇生法とAED操作を学びました。また、翌日は2・3年生も学びました。

講習会では、飯館分署の職員と応急手当普及員で村女性消防隊の高橋美佐子さん（伊丹沢）と石川幸枝さん（比叡）が講師を務めました。

生徒たちは、人命の尊さや救命の大切さなどを感じながら真剣な表情で受講していました。



▲普通救命講習を受ける生徒たち

## 子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

### 尿検査

学校では毎年、健康診断を行います。尿検査もその一つです。

飯館中の1回目の提出者は全校生徒222人中189人で、提出率は85・1%でした。草野小は全校児童160人中13人が持参せずでしたから提出率は92%です。

福島市内の小・中学校数校に尋ねましたら、いずれも95～98%ということでした。これが常識的な数字なのだろうと思います。

飯館村の場合、親たちがわが子の健康に関心が薄いのか、子どもたちがいい加減なのか、はたまた学校の指導が不十分なのか、すぐには判断がつかかねます。

人間にとって最も大切なものは命と健康です。健康診断を決して軽視してはいけません。まずは、親が自覚をすべきです。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野和夫